

令和4年度 物流講座 開催案内

1. 物流講座の目的

地方公共団体等の港湾関係業務に携わる職員の方に、国際・国内物流の最新動向を学び、考える機会を提供することにより、港湾振興の戦略検討や実務の充実・強化に役立てていただくことを目的としています。

2. 受講対象

港湾管理者、港湾所在市町村、国土交通省、港湾関連企業、コンサルタント等の職員の方で、5年程度以上の実務経験を有する方を対象としています。

3. 開催時期 2022年10月13日(木)～14日(金)

4. 会場

TKP赤坂二丁目カンファレンスセンター 7A

東京都港区赤坂2-5-8 ヒューリックJP赤坂ビル7階 電話 03-5575-1055



5. 募集受講者数：会場参加 30名 オンライン参加 30名（定員に達した場合には、申込期限にかかわらず締切らせて頂きます。）

※オンライン参加は、受講者が自身のパソコン等を使用し、Web会議システム（Zoom）により、オンラインで講義を受講するものです。なお、講義資料は事前にメールにて送付します。

6. 受講料（税込み）

会員 11,000円 非会員 16,500円（会場参加・オンライン参加とも同額です。申込受付後、請求書を送付いたします。）

7. 申込み方法

申込受付期間：2022年9月1日（木）から9月30日（金）まで

日本港湾協会ホームページ [公益社団法人 日本港湾協会](http://公益社団法人日本港湾協会) 講演会・講習会の案内 (phaj.or.jp)からお申し込みください。

会場参加、又はオンライン参加のいずれかを選択してください。

※ 問合せ先 (公社)日本港湾協会 木村、畑谷 電話03-5549-9574

8. カリキュラム

【令和4年10月13日（木）】

時間帯	内 容	講 師
10：30～10：35	開講挨拶	(公社)日本港湾協会 理事長 大脇 崇
10：40～11：50 (70分)	「長距離フェリー・RORO 船による国内物流」 長距離フェリー・RORO 航路の現状、トラック ドライバーの 2024 年問題、海運へのモーダ ルシフトの意義、フェリー・RORO 航路の課 題・展望など	流通経済大学 客員講師 加藤 博敏 氏
13：10～14：20 (70分) 14：30～15：40 (70分) 15：50～16：50 (60分)	「港湾の経営とロジスティクス戦略」 サプライチェーン時代の港湾、世界の港湾ロ ジスティクス戦略の実態、日本の成長戦略と 港湾の役割、日本の港湾経営とロジスティク ス戦略など 〈意見交換〉	政策研究大学院大学 客員教授 井上 聡史 氏

【令和4年10月14日（金）】

時間帯	内 容	講 師
9：30～10：40 (70分)	「冷凍食品の物流」 食品・水産品の輸出入（コールドチェーン） を取り巻く現状と課題など	日水物流(株) 貿易業務部 部長 喜安 邦仁 氏
10：50～12：00 (70分)	「グローバル・サプライチェーン・ ロジスティクスの変遷と今後」 グローバル・サプライチェーン・ロジスティ クスの変遷、それによって物流企業のあり様 はどう変わってきたか？、グローバル・サプ ライチェーン・ロジスティクスの今後、それ が物流企業に求めるあり様は何か？など	ヤマト運輸(株) 専務執行役員 恵谷 洋 氏
13：10～14：20 (70分) 14：30～15：50 (80分)	「現代物流の動向」 アジアの物流動向、コールドチェーン、港湾 マーケティング、モーダルシフト事例、脱炭 素化と海運など	流通科学大学 名誉教授 森 隆行 氏
15：55～16：00	閉講式	

※講師、講演内容については変更が生じる場合があります。